

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	財政調整基金積立事業					事務事業コード	01801
部名	総務部	課名	財政課	係名	財政係	部課コード	010200

1. 事業概要

総合計画コード	6531					
事業年度	年度	～	H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input checked="" type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務				<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 地方財政法第4条の3第2項	
めざす目的成果	年度間の財源の不均衡を調整するために必要十分な積立がされている。					
事業内容	財政調整基金の運用利息の積立を行う。 決算における剰余金の1/2を下らない金額の積立を行う。					
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 財政調整基金の運用利息の積立を行う。 決算における剰余金の1/2を下らない金額の積立を行う。					

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		財政調整基金の運用利息の積立を行った。(837千円) 決算における剰余金の1/2を下らない金額の積立を行った。(504,694千円)				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		659,328	857,300	518,524	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他	659,328	857,300	518,524	
	[ホ]一般財源					
	b 人件費		733	733	733	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		660,061	858,033	519,257	
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		一般職非常勤職員等(時間)				
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		積立金利子 837千円 決算剰余金の積立 504,694千円 その他積立 12,993千円 合計 518,524千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	①	基金利子積立額	千円	72	72	72
				( 840 )	( — )	( — )
動	②	決算剰余金の1/2を下らない金額の積立	—	積立	積立	積立
				( 積立 )	( — )	( — )
成	①	基金の必要額確保	—	確保	確保	確保
				( 確保 )	( — )	( — )
果	②					
		( )	( — )	( — )	H 年度	

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 財政調整基金は、予期せぬ収入減少や支出の増加に備え、長期的視野に立った財政運営を行うため、財源確保の点からも積極的に関与する必要がある。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 財政調整基金の運用利息が発生し、基金に積み立てることができたほか、決算剰余金の1/2を下らない金額を積立て、財政調整基金の必要額を確保できた。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 誰にとっても暮らしやすいまちの実現をめざして、必要な積立を行った。 参加と協働: 財政調整基金の残高をホームページにて公表した。 経営的な視点: 年度間の財源の不均衡を柔軟に調整できるように努めた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 財政調整基金の運用利息や決算剰余金の積立については、結果として積立を行うものなので、見直す余地がない。			

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )				
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続				
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期: H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期: H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期: H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期: H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期: H	年度)	
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大		(実施時期: H	年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	<input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年度) 財政調整基金の残高を確保するため、確実に運用利息を積み立てる必要がある。				